

「コンポンチャム及びバッターバン上水道拡張計画」竣工記念式典
隈丸大使スピーチ

2016 年 7 月 21 日（木）8:00～ 於：バッターバン 新浄水場

- 敬虔なる僧侶の皆様
- カンボジア王国 フン・セン首相 閣下
- カンボジア王国 ソー・ケン 副首相閣下、その他副首相の皆様
- カンボジア王国 チャム・プラシット上級大臣 兼 工業手工芸大臣閣下、その他上級大臣の皆様
- バッターバン州知事 チャン・ソファール閣下
- コンポンチャム州知事 ルン・リムタイ 閣下
- ご列席の皆様

本日は、フン・セン首相閣下をはじめとするご列席の皆様とともに、「コンポンチャム及びバッターバン上水道拡張計画」によって整備された二カ所の浄水場の完成をお祝いできますことを大変嬉しく思います。

本プロジェクトは、33.55 億円の日本の無償資金協力により、ここバッターバンにおいて日量 22,000 m³、コンポンチャムにおいて日量 11,500 m³の給水を可能とする浄水場の建設、及び各家庭までの配水管網の敷設を行ったものです。両地域で整備された配水管網の総延長は合計 120 km以上に及びます。これにより、ここバッターバンでは 81,000 人以上、コンポンチャムでは 37,000 人以上に安全な水を安定的に供給することが可能となり、両地域における生活利便性や衛生環境の向上に大きく寄与することになります。

このような大規模な事業は、コンサルタントとしてご協力いただいた株式会社日水コン、北九州市上下水道局及び株式会社建設技研インターナショナル、並びに施工業者としてご協力いただいた株式会社クボタ工建、そして J

I C Aの関係各位などの実に多くの方々の献身的なお力添え無しには成し得ません。この場を借りて皆様方に厚く御礼申し上げます。また、その実施に当たっては様々な困難があったと思いますが、安全環境の確保に努められた結果、全工事期間を通じて人的事故の発生がなかったと聞いております。大変素晴らしいことだと思っております。

この浄水場においては、日本メーカーの浄水システム、電気ポンプ等、日本の技術が多く使用されております。カンボジアで実施される今後の水関連の事業においても、日本製品や日本の技術を継続的に利用していただくことを願っております。諸事業の成功、住民の方々の安全・安心の確保に大いに役立つことと思っております。

カンボジアでは、1990年代以降、プノンペン都を筆頭に上水道分野でめざましい発展が遂げられております。日本政府からの継続的な無償資金協力、有償資金協力及び技術協力の実施により、カンボジアの都市部における給水状況は大幅に改善されてきております。カンボジアの国家開発戦略(NSDP) 2014-2018では、2025年までに全ての都市部の人々に給水するという大きな目標が設定されていますが、この目標に向かって、今後、更に様々な重要な取り組みが行われていくことを期待しております。

最後になりますが、これまでのカンボジアと日本の間の上水道分野における長期間にわたる緊密な協力関係をお祝いするとともに、今後、更に広い分野においてカンボジアと日本の友好関係と協力関係がより一層深まることを心より祈念いたします。

ありがとうございました。